

全国発達支援通園事業連絡協議会

第24回全国大会（滋賀大会） オンライン開催

大会テーマ 「時を生き、地域に生きる子どもと家族を支える療育」
～地域でつなぐ、地域でつながる～

療育が児童発達支援として児童福祉法に位置づいてから10年が経ち、児童発達支援ガイドラインが作成され、今年4月には児童発達支援事業に関わる報酬改定がなされました。

病院や施設でなされるものだった「療育」が、1970年代から1980年代にかけて地域において実施するものへと転換が図られました。近年、療育は発達支援、家族支援、地域支援を包含するものとして捉えられるようになり、役割と対象の幅を広げ、障害が確定しない気づきの段階から保障する意義が確かめられてきました。現在では、児童発達支援事業所数が全国で7,000箇所をこえ、親子にとってより身近な存在になっています。

障害や発達上の課題があることでさまざまなもつれが生じがちな時期に、そのもつれを解きほぐしながら、子どもたちが「生まれてきてよかった」と思える地域をともにつくっていく役割が児童発達支援事業所にはあります。

一方、制度上はまだ大きな制約があります。きめ細かな送迎、丁寧につくられた食事、たっぷり遊んでしっかりとれる休息や午睡、安全な屋外の遊び場の確保など、あたりまえの生活を子どもの基本的人権として保障しようとしても、障害に対する合理的配慮を「受益」とみなす現行の報酬方式の制度では大きな困難があります。

昨年から続く新型コロナウイルス感染拡大のもと、児童発達支援もまた地域の中で欠かすことのできない事業であることが改めて浮き彫りになりました。今回は、感染拡大予防のためオンライン開催となりますが、もう一度療育の原点に立ち返り、自分の地域の現状を見つめ直し、療育の「あした」をひらく勇気がわいてくる大会になればと願っています。

皆さんのご参加をお待ちしています。

1. 日 程 **2021年10月23日（土） 午前9時30分～午後4時30分**
2. **オンライン開催**（Zoom 配信会場：コラボしが21）
3. 主 催 全国発達支援通園事業連絡協議会 全通連第24回全国大会実行委員会
4. 後 援 滋賀県・大津市
5. 対 象 障害児通所支援関係者、母子保健・保育・子育て支援・教育関係者、保護者、行政担当者など
6. 定 員 250名
7. 参加費等 **参加費 3,000円（お一人につき）**

お申し込みは web で

申し込み締め切り 9月30日(木)まで

- 1 下記 URL または右の QR コードから
<https://forms.gle/gb2v50HaSLQjpsNz7>
- 2 お申込みフォームに必要事項を記入→「送信」をクリック
- 3 お申込みいただいたメールアドレスに参加費のご案内や Zoom の URL を送ります。



8. 内容

9:00 Zoom 入室できます

【午前の部】

9:30 開会式

実行委員長挨拶	滋賀大会実行委員長	河村 史恵
会長挨拶	全通連会長	近藤 直子

9:40 基調報告

総会	全通連事務局長	加藤 淳
----	---------	------

10:20 休憩

10:30 記念講演「発達保障の現場をたどる：近江学園、大津市、そして…」

元立命館大学大学院教授	中村 隆一氏
-------------	--------

12:00 休憩

【午後の部】

12:45 実践報告 「地域でつなぐ、地域でつながる

～全ての子どもが育ち、子育てしやすい地域づくりに向けて(滋賀県から)～

- ① 母子保健の立場から 土藏 百恵氏 (大津市保健所健康推進課保健師)
- ② 医療的ケア児の療育現場から 多久島 尚美氏
(多機能型事業所ちょこらんど)
- ③ 相談支援の立場から 石川 孝子氏 (やまびこ相談支援事業所)
- ④ 療育教室をつなぐ立場から 中程 良子氏
(滋賀県障害児地域療育連絡協議会)

司会 加藤 淳 (全通連事務局長)

まとめ 中村 隆一氏 (元立命館大学大学院教授)

14:35 休憩

14:50 行政説明

厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課 障害児・発達障害者支援室
障害福祉専門官 鈴木 久也氏

15:50 保護者の思い 阪口 彩氏

16:10 まとめ 全通連会長 近藤 直子

16:30 終了 次年度大分大会案内

お問い合わせ先

全国発達支援通園事業連絡協議会
464-0032 名古屋市千種区猫洞通1-15
東部地域療育センターぽけっと 内
tel 052(782)3388
E-mail zenturen@yahoo.co.jp
HP <http://zenturen.g1.xrea.com/>